

World News

ロケット関連ニュース

1. Galaxy C 衛星打上げ成功

ロングビーチ、CA、2002年6月15日
- PanAmSat社は、本日 Galaxy C 衛星の打上げに成功し、PanAmSat 衛星群の 22 番目の衛星となったと発表した。

Galaxy Cは24本のCバンドと52本のKu-バンドトランスポンダを搭載し、現地時間午後3時39分(午後6時39分EDT)に、太平洋上の赤道に置かれた Sea Launch Odyssey プラットフォームから打上げられた衛星は、西経95度の静止軌道に配置される。 Galaxy C 衛星は PanAmSat の



Galaxy III C Liftoff - June 15, 2002

Sea Launch 提供

ビデオ、VSAT、放送、DirecTV ラテンアメリカの DTH サービスを目的にしている。4850 キログラムの Galaxy III C Boeing702 モデル は、ラテンアメリカをカバーしている 28 の Ku-バンドトランスポンダだけでなく、米国をカバーしている 24 本 C バンド

と 24 本 Ku-バンドトランスポンダを搭載している。

- PanAmSat 2002.6.15 プレスリリース記事 -

2. Intelsat 905 衛星の打上げ成功

ワシントン DC 2002年6月5日

- Intelsat は Intelsat905 衛星が午前2時44分EDT(午前6時44分UTC)に Ariane 44L ロケット(Flight 152)で打上げられ、静止軌道に投入されたと発表した。



Ariane flight 152 liftoff- June 5, 2002

Ariane Space 提供

軌道上試験を経て、衛星は7月からサービスを開始する予定である。

Intelsat905 は 9 機のリプレイス衛星の 5 番目の衛星である。905 衛星は東経 335.5 度に展開され、電話、企業ネットワーク、インターネット、ビデオ等のサービスを提供する。衛星は 72 本の C-Band トランスポンダと 22 本の Ku-Band トランスポンダを搭載し、西ヨーロッパ及び北米の広範囲の地域に高出力 Ku-Band スポットビームのサービスを提供する。また、ヨーロッパ、中東、アフリカ、北米及び南米地域に C-Band サービスを提供する。衛星はスペースシステムズグローバル社で製造された。衛星バスは FS-1300 バスである。次期 906 衛星は

今年第3四半期(10月-12月)に Ariane44L
で打上げられる予定である。

- Intelsat 2002.6.5 プレスリリース記事 -

3. Arianespace は SATMEX 6 の打上げ 契約を結ぶ

メキシコの衛星通信オペレータ Satmex は、
2002年5月30日、メキシコシティの
Satmex 本社において、Arianespace と
Satmex 6 衛星打上げ契約に署名したと
Lauro Gonzalez、Satmex 社長、および
Jean-Marie Luton、Arianespace の会長兼
最高経営責任者は、Universum 科学博物館
で発表した。

Ariane 5 によってフランス領ギアナの宇宙
基地から 2003年1月 - 3月の時期に打上げ
られる計画である。Satmex 6 は、
Arianespace が打上げたメキシコの4番目
衛星になると共に、SATMEX 社の SATMEX 5
に続く2番目の衛星になる。Satmex 5 は
1998年12月に Ariane フライト 114 で打上
げられた。Satmex 6 は現在 SS/L 社の標
準 BUS の FS1300 衛星 BUS をベースに製造中
で、打上げ総重量が 5,700Kg で、36本 C-Band
トランスポンダと 24本 Ku-Band トランスポ
ンダを搭載し、西経 109.2 度に打上げられ
る計画である。サービス範囲はメキシコ、
北米、ラテンアメリカで、メキシコの衛星
では、最も大きい衛星である。

- Arianespace 2002.5.30 プレスリリース記事 -

衛星関連ニュース

1. N-STAR c 7月初旬に Ariane 5 で 打上げ予定

N-STAR c 衛星が、6月19日に、フランス領ギ
アナの Cayenne Rochambeau 国際空港に到達
した。



N-STAR c - June 19, 2002

Arianespace 提供

N-STAR c 衛星は Steliat 5 衛星との Dual
Launch で Ariane 5 で7月初旬に打上げられ
る予定である。N-STAR c 衛星は、Ariane の
ギアナ宇宙センター内の新しい S5 衛星準備
室で出荷コンテナから開梱され、数時間後に
S5 クリーンルームに保管された。この衛星は、
これから S5 コンプレックス内で衛星機能のチ
ェックアウトと燃料の供給を実施し、ロケット接
続アダプターとのフィットチェックを行い、ロケッ

トに搭載される。N STAR c は、軌道上での衛星引渡し後、NTT DoCoMo により運用される。衛星は、Lockheed Martin(衛星プライム契約者で通信ペイロード供給業者)と Orbital Sciences Corporation(衛星 BUS と地上局を担当すると共にロケット調達を担当)の Team で製造された。順調に作業が進めば、Ariane 5 Flight 153 で7月初めに、N-STAR c と Stellan 5 の Dual Launch で打上げられる予定である。

Ariane 社 2002 年 6 月 19 日プレスリリース記事

2. Thuraya は 2003 年 1 月に Thuraya 2 を 打上げると共に Thuraya 3 の製造契約 を Boeing と締結した事を発表

- Thuraya 衛星通信会社 アラブ首長国連邦、アブダビ本社)は、Thuraya-2 衛星を 2003 年 1 月に打上げることについて Boeing に許可した。同時に、Thuraya-3 製造契約を Boeing と結んだと発表した。

Sea Launch で Thuraya-2 を打上げ、東経 44 度の Thuraya-1 と同じ軌道に配置される。Thuraya-1 は最初の Boeing で製造された GEO 移動体通信衛星で 2000 年 10 月に打上げられた。Thuraya-2 は同じテクノロジーに基づく衛星であるが、Thuraya-1 に比べて RF 出力を約 10%パワーアップされ、また、衛星を長寿命としている。Thuraya の Mohammad Omran 会長は次のように述べている。「私達は、Thuraya-2 を 2003 年 1 月に打上げる事で Boeing と合意に達した事に非常に満足している。Boeing は宇宙通信のリーダーカンパニーである。Thuraya-2 は Thuraya-1 を補間する為、Thuraya-2 の打上げは Thuraya のために

必須である。2001 年にサービスの開始以来、Thuraya システムは 650 万以上の電話利用を記録し、現在、65000 以上の携帯電話セットが売られています。Boeing は Thuraya-3 も製造します。」

Thuraya のデュアルモード衛星携帯用電話は、声、データ、ファックス、および短いデータ通信を含むサービスだけでなく衛星と GSM と GPS を統合したものである。

Thuraya ネットワーク移動体衛星通信サービスを 100 カ国以上に提供しており、サービス範囲はヨーロッパ、北アフリカ、中央アフリカ、中東、中央アジア、および南アジアをカバーしている。

BSS 社 2002 年 6 月 18 日プレスリリース記事